

■申込方法：12/2（金）10:00 より受付開始（12/16（金）18:00 受付終了）

*先着順。定員に達し次第随時終了

下記 QR コード (https://www.joshibi.ac.jp/for_teachers/20221227) 内のフォームより、

①本学相模原キャンパスで講義系研修・実技系研修会全て参加（9:30～17:30）

または、②オンラインで講義系研修のみ参加（9:30～12:00）を選択、お申込みください。



講義系研修（9:45～12:00）相模原キャンパス *オンライン受講可

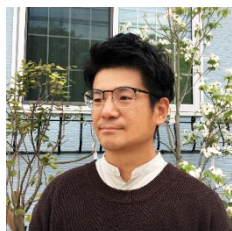
*講義系研修Ⅰ・Ⅱを受講後、実技研修を受講いただけます。

*オンラインで受講される場合は、講義系研修のみとなります。

講義系研修Ⅰ（9:45～10:45）

『仏像というフィギュアのデザイン』

内容：高校までの授業では、仏像というと、日本史の教科書で唐突に文化史のページに出てくる程度で、受験勉強のために代表的な像の名前だけ覚える、というイメージがあるかもしれません。ですが、そもそも寺院は仏教を題材にしたテーマパークであり、仏菩薩はそこで活躍する個性あふれるキャラクターたちに他なりません。つまり、寺院に安置されている仏像は、ほとけの世界を分かりやすく伝えるために作られた人気キャラクターのフィギュアなのです。そのデザインには、各時代、各民族の素朴な願いが込められています。それを知れば、仏像をより身近に日本の文化の中で理解できるはずです。旅行中、漠然と寺院をまわってしてしまうのはもったいない！修学旅行の事前学習にも最適です。



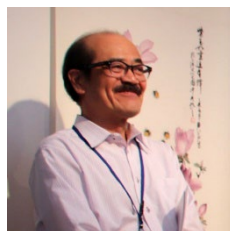
<講師>

檀山満照 准教授
芸術学部 共通専門

講義系研修Ⅱ（11:00～12:00）

『美術教育と私』

内容：東京都立高校の教員を36年間7校に勤務し、定年退職後女子美に8年、幸い現職の時の経験を活かせる教科教育に関する科目を担当することが出来、合わせて44年間美術教育と共に歩んできました。これまでの記憶を思い起こして、記録に留めることで今後の美術教育の在り方を考えたいと思いました。この間多くの先生や師と出会え、また多くの友人たちと美術やデザインの授業課題に取組み、制作の楽しさや苦しさなどを感じ取って来ました。参加される先生方とイメージ共有できるような経験話を、学ぶ側の視線からまとめてみたいと思います。



<講師>

佐藤清親 特別招聘教授
(高大連携担当ディレクター)
芸術学部／短期大学部
共通専門 教職課程